

HSK

平成元年5月
臨時号

たんちょう

平成元年5月10日発行
毎月10日発行(1部100円)
HSK通巻第204号
昭和48年1月13日
第3種郵便物 認可
発行.....
北海道身体障害者団体定期刊行物協会
編集.....
道腎協/釧路地方腎友会

発行 釧路地方腎友会 住所 釧路市新富町1番7号 林田クリニック内

各位 殿

24

釧路市新富町7-1
林田クリニック内
釧路地方腎友会
会長 橋本 巖

釧路地方腎友会 平成元年度総会のご案内

道東にもようやく桜の花が咲く季節がやってきました。
各位には日頃より、腎友会の各種活動に対し、多大の御理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。
昨年は、釧路地方腎友会の活動家並びに会員の方が多数世界され、今後の釧路地方腎友会の活動が、大きな転換期になることが予想されます。
釧路地方腎友会が、今までと変わらぬ活動が出来ますよう、皆様方のお指導を、今後とも宜しくお願い致します。
つきましては下記の通り、平成元年度の釧路地方腎友会総会を開催しますので、是非お出席いただき、激励の挨拶等をいただければ幸いです。
また、もし御出席いただけない場合には、誠に恐縮とは存じますが、お手紙等で連帯の挨拶を頂戴出来れば幸いです。

記

日 時	平成元年6月4日 (日)
	午前 10:00より
場 所	釧路市総合福祉センター 釧路市旭町12-3 TEL 0154-24-1565
内 容	別紙総会議案書の審議 ほか

平成元年5月10日発行 毎月10日発行(1部100円)
HSK通巻第204号 昭和48年1月13日 第3種郵便物 認可
発行・北海道身体障害者団体定期刊行物協会 編集・道腎協/釧路地方腎友会

平成元年度

総 会 議 案 書



と き; 平成元年6月4日(日)
午前10時～

と ころ; 総合福祉センター 2階 視聴覚室
(旭町)

釧路地方腎友会

釧路地方腎友会 総会

議 事 次 第

1、開会のことば

2、黙 禱

3、会長 挨拶

4、来賓 挨拶

5、祝電 披露

6、議長 選出

7、議 事

① 63年度活動報告

② 63年度決算報告

③ 63年度会計監査報告

④ 平成元年度活動方針(案)

⑤ 平成元年度予算(案)

その他

8、質 疑 討 論

9、役 員 改 選

10、新旧 役員 紹介

11、議 長 解 任

12、閉会のことば

(一) はじめに

この一年間、日本は「天皇」「リクルート」で揺れました。更に、消費税もこの4月から実施されようとしています。これが実施されると、一部のものを除いてほとんどの物に3%の税金がかかり、私達の生活に跳ね返ってくることは必至です。

防衛費はフリーパスで認められるのに、福祉予算はなかなか増やそうとはしてくれません。

そんな中で全腎協は「腎疾患総合対策に関する要望」を厚生省に提出し、平成元年度予算での拡充を求めました。その内容は、①尿検査の完全実施や腎センターの充実を含む「腎臓病の予防と治療対策」②透析患者にしわ寄せとにならない実情に見合った診療報酬点数の設定を含む医療保障などとなっています。

一方、腎提供者数は全国で215,112名、移植希望者数は11,808名となっており移植希望者に対する提供者の割合は依然として低いものです。そんな中で、血液型の違う親子が腎移植に成功したと新聞で報道されました。釧路市内でも、移植を希望し実施する方がみられるようになっていきます。

また、透析が長期に渡るために、骨や心臓に障害をおこす方が増えています。これらの障害を克服するには病院の医師やスタッフに相談するのはもちろんですが、患者自身が研究し、考えていかなければならないと思います。

「中標津に透析病院を」という問題も、医療的な障害があるために実現が遅れている現状です。別海や中標津から遠い道を通っている人たちのために早く実現してほしいと思います。

釧路地方腎友会の会員数は140^名ほど、総患者数は200名に達しようとしています。

「病気について話し合いたい」と16名で発足したころに比べおよそ10倍にもなっています。大きくなった釧路地方腎友会も新たな患者会活動を考える時期にきていると思います。

(二) この一年間の活動と主な成果

- 1) 腎臓病予防の啓発・腎移植の推進などを図り、毎年 講演会を開催致しました。今年 は特に「長期透析における骨の障害について」ということで林田クリニック院長である林田紀和先生に講演いただきました。この講演には100名を越える人が集まりました。この日は北見、網走、根室の各地から講演を聴きに集まりました。林田先生に対して質問が集中して時間が足りなくなるほどでした。
- 2) 腎臓提供登録と移植の普及をめざし、腎登録キャンペーンが、今年も10月9日 (日) イトーヨーカドー釧路店前で20名が参加して行なわれました。風船200パンフレット2000、ティッシュ2000個を配りました。登録者は7名でした。後日行なわれた市役所主催の健康まつりでは12名の方が登録してくれました。
- 3) 全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立」を求める署名、また、日患協の「福祉制度の充実」を求める国会請願署名・募金活動は全腎協分971件、日患協分840件募金合計は56,211円でした。このうち、全腎協分の65パーセントを道腎協に送り、残りを一般会計に繰り入れました。
- 4) 昨年より懸案となっておりました「中標津病院に透析を」という問題については、昨年の9月25日・10月18日の2度にわたって陳情をいたしました。地元の患者さんたちの切実な要望を聞いて、その声を直接中標津町長さんに会って伝えました。その時の話では、『町としてはいずれ人工透析を実施するつもりだが、専門医が来てくれないという問題があるので今すぐというわけにはいかないのです。』ということでした。
- 5) 市の主要報道機関に対し「腎臓病に対する理解を求める」旨の記事掲載の要請を行い道新、釧新、NHKなどで報道されました。これから更に啓蒙をすすめていかなければならないと思います。
- 6) 三役会2回、幹事会7回実施しました。それぞれの役員が一同に会することがなかったものの、各行事の推進にあたっては滞りなく検討・実施されました。

- 7) 道東6地区交流会は9月24日～25日に網走オホーツク荘で開催されました。帯広、北見、網走、湧別、釧路から総勢70名の仲間が集りました。夜の交流会では網走出身のプロ歌手「郷田 二郎」ショーがあったり、カラオケ大会があったりと、とても楽しいものでした。釧路からは上田顧問、会長を含め5名が参加して親睦を深めてきました。来年度は釧路が当番となっています。

(三) レクリエーションの実施と結果

1) 日帰り登山

7月24日(日)前に何度か登ったことのある藻琴山を、今度は裏側から挑戦しました。参加者は患者、家族、病院スタッフ総勢約40名。登るのに40分から50分位かかりました。途中で飲んだ湧き水「銀嶺水」はのどにしみわたるほどおいしかった。全員が登頂し、事故もなく帰ってきました。

2) 野遊会

今年は各病院単位で実施いたしました。市立病院は9月に患者20名で食事会を実施。協立病院は10月に温泉日帰り旅行を患者7名を含む25名で実施。林田クリニックは、8月28日、患者20名を含む総勢40名で、昆布森海岸で釣りと食事会を実施。日赤、厚岸、労災は実施できませんでした。

3) 一泊旅行

10月1日～2日、例年参加者が減っていますが、今年は27名ほどの参加でチョッピリ寂しい旅行となりました。川湯温泉「川湯山荘」に泊まりました。建物が古く、お湯も少しぬるめでしたが料理はなかなかでした。

4) 新年会

平成元年1月22日(日)、昨年料理が好評だったので、今年も栄町会館で実施しました。参加者40名で、ヨーヨー釣りやゲームなどを楽しみました。この日は、高橋宏政市議会議員が参加してくださいました。また、伊藤武一道議さんや林田クリニックの中島さんから沢山の景品をいただきました。

(四) 組織・広報・財政の強化

- 1) 今年は入会案内を釧路地方腎友会の6病院に非会員配布し、入会を勧めました。その結果、数名の方が入会しました。
- 2) 地域難病連、関係諸団体との連携を継続してまいりました。今年は、釧路難病連の交流会に6名の方が参加し、動物園で楽しい一日を過ごしました。
- 3) 今年は前会長の上田氏に顧問になっていただき、会運営についてアドバイスを受けました。また、副会長を5名おいて、仕事の分担をいたしました。
- 4) 機関紙「たんちょう」の年6回発行。編集委員はあまりそろうことがありませんでしたが、滞りなく発行できました。今年は特にクイズが好評で抽選して景品を配りました。事務連絡は18回発行し、会員に周知徹底をはかりました。
- 5) 会費は年間7200円、申し立てにより生保者^の方は割引となります。今年度も未納の方がおられますのではやめに納入ください。
- 6) 年賀状印刷斡旋では70万あまりの収益がありました。その収益から記念タオルを作り、会員全員に配布、年賀状でお世話になった方に配りました。また、花火の販売では4万円あまりの収益がありました。
- 7) 国会請願署名及び日患協の署名における募金では、釧路分11、300円の収益があり、花火の収益とあわせて一般会計へ繰り入れました。
- 8) 道腎協の募金箱では、1回目(8月)14ヶ所で15、200円のうち40パーセントにあたる6、080円を一般会計に繰り入れます。
- 9) 今年度は寄付が多く、金額も大きいものがありました。これらのお金は釧路地方腎友会の活動に役立たせていただきました。詳しい内容は予算書の中に掲載してあります。

昭和63年度活動記録

4月 9日	道腎協運営委員会	難病センター	
4月16日・17日	難病連総会	札幌	
4月16日	道腎協運営委員会	札幌	
4月24日	釧路地方腎友会幹事会	林田	8名
5月 7日・8日	釧路地方腎友会役員会	阿寒ホテル山浦	14名
5月15日	釧路地方腎友会三役会	林田	4名
5月21日・22日	道腎協総会	難病センター	2名参加
5月26日	難病連釧路支部総会	福祉会館	
6月11日	難病連理事会	札幌	
6月12日	釧路地方腎友会総会	福祉会館	70名
6月25日	釧路地方腎友会幹事会	林田	9名
6月30日	難病連釧路支部総会	福祉会館	
7月10日	難病連理事会	札幌	
7月16日	登山下見	藻琴山	2名
7月24日	日帰り登山	藻琴山	40名
7月30日・31日	難病連全道集会	札幌	
7月31日	難病連釧路支部レク	釧路動物園	
8月 8日	釧路市立病院院長訪問		3名
8月11日	中標津病院での透析希望調査発送		
8月14日	釧路地方腎友会幹事会	林田	5名
8月28日	林田野遊会	昆布森	40名
9月	市立野遊会	食事会	35名
9月 4日	釧路地方腎友会臨時総会	身障センター	28名
9月10日・11日	難病連役員研修会	札幌	
9月17日	道腎協運営委員会	難病センター	
9月24日・25日	6地区交流会	網走オホーツク荘	(釧路5名)
9月25日	中標津病院の透析について打合せ	当幌会館	
10月 1日・2日	釧路地方腎友会一泊旅行	川湯山荘	25名
10月 2日	阿寒地区難病無料検診		
10月 9日	腎提供登録キャンペーン	ヨーカドー	20名
10月15日	釧路地方腎友会幹事会	林田	8名

10月	国立病院日帰り温泉旅行	鶴居	25名
10月18日	中標津町へ人工透析実施についての陳情	上田・橋本	
10月23日	釧路地方腎友会講演会	林田先生	100名
10月29日・30日	道腎協幹事会	札幌	
10月30日	道腎協講演会	札幌	
12月3日	釧路地方腎友会幹事会	林田	5名
1月14日	難病連理事会	札幌	
1月22日	釧路地方腎友会新年会	栄町会館	40名
2月19日	釧路地方腎友会幹事会	林田	12名
2月21日	難病連道東支部役員会	福社会館	
3月11日・12日	釧路地方腎友会幹事会	阿寒ホテル山浦	15名
3月18日	難病連道東支部研修会	根室	
3月25日	難病連理事会	札幌	

機関誌の発行状況

63年 4月号 (101号)

道議会の動き・名曲に酔い天国気分・各病院の近況・クロスワードパズル
暦の起源・クイズの答・おしらせ・その他

63年 6月号 (102号)

道腎協第11回定期総会に参加して・道腎協役員名簿・腎臓移植をして
横浜ブルーブラ・63年度釧路地方腎友会行事計画一覧・暦の起源(2)
クロスワードパズル・会員の動向・その他

63年 8月号 (103号)

釧路地方腎友会総会報告・釧路地方腎友会新役員・登山レポート・登山に参加
して・細岡湿原展望台・思いがけない入院・クロスワードパズル・クイズの答
会員の動向・その他

63年10月号 (104号)

道腎協運営委員会報告・町立中標津病院の人工透析施設要望・林田の野遊会に
参加して・人工透析患者に朗報・第6回登山成功おめでとう・6地区交流会の報告
・クロスワードパズル、当選者・あなたのペットは今何才?・会員の動向

63年12月号 (105号)

道腎協幹事会、講演会報告・「ごじあいのほどを」・暦の起源・林田先生
の講演を聞いて・皆さんは大丈夫ですか・国会請願署名・募金結果・クロ
スワードパズル

平成元年2月号 (106号)

新年を迎えて・新年会に参加して・私のハワイ旅行・広瀬正誉さんのおとうさん
から年賀状・昭和63年度年賀状取扱実績表・釧路地方腎友会6病院の患者数
の推移・クロスワードパズル・その他

事務連絡の発行状況

4月24日	No.	1	62年度下期交通費申請書提出について
26日	No.	2	幹事会案内
5月15日	No.	3	釧路地方腎友会63年度総会の案内
27日	No.	4	通院交通費受領手続について
7月11日	No.	5	日帰り登山・温泉の案内
8月24日	No.	6	交通費にかかわっての臨時総会案内
9月5日	No.	7	秋の一泊旅行の案内
10月1日	No.	8	通院交通費申請書提出について
10月3日	No.	9	腎臓提供登録キャンペーンの協力依頼
10月3日	No.	10	秋の会合・講演会案内
12月5日	No.	11	会費納入のお願い
12月14日	No.	12	新年会の案内
1月22日	No.	13	年賀状御苦勞様でした
2月15日	No.	14	幹事会案内
2月25日	No.	15	幹事会の報告(役員向け)
2月27日	No.	16	63年度下期交通費申請書提出について
3月1日	No.	17	続会費納入のお願い

昭和63年度

鋼路地方腎友会 決 算 書

会計期間 自 昭和63年4月1日
至 平成元年3月31日

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
会 費 63年度分	964,800	946,800	600円×1,522月=913,200(133名) 400円× 84月= 33,600(7名)
会 費 62年度分		16,800	600円× 24月= 14,400(2名) 400円× 6月= 2,400(1名)
会 費 元年度分		1,800	600円× 3月= 1,800(2名)
助 成 金	100,000	100,000	鋼路市より
寄 付 金	0	172,780	千葉・葛西・岩見・渡部・跡部 伊藤・三浦・谷田部・村上 さん
還 元 金	80,000	17,380	署名募金 11,300円 募金箱 6,080円
利 息	1,000	327	預金利息
繰 越 金	66,890	66,890	昭和62年度より
計	1,212,690	1,322,777	

病院別会費納入状況表

病 院 名	会 員 数	会 費 の 状 況
鋼路市立病院	55名 5名	600円×628月=376,800円 400円× 54月= 21,600円
林田クリニック	36名 1名	600円×426月=255,600円 400円× 12月= 4,800円
日赤病院	9名 1名	600円× 99月= 59,400円 400円× 12月= 4,800円
協立病院	14名 1名	600円×170月=102,000円 400円× 12月= 4,800円
労災病院	2名	600円× 24月= 14,400円
厚岸町立病院	17名	600円×202月=121,200円
計	133名 8名	600円×1,549月=929,400円 400円× 90月= 36,000円

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
負 担 金	493,200	495,000	全腎協100円 道腎協200円 135名
事 務 費	30,000	38,082	切 手 15,150 名 刺 3,000 用 紙 4,400 書籍代 3,000 ほ か 12,532
会 議 費	230,000	236,460	総 会 59,820 幹事会165,600 三役会 11,040
広 報 費	100,000	87,650	用紙代 26,400 送 料 39,430 作成料 12,000 景品代 5,860 インク 3,960
活 動 費 行 動 費	233,500 (133,500)	132,010 (24,000)	道腎協 総 会 8,000 道腎協 運 営 委 8,000 道腎協 幹 事 会 4,000 健康まつり 4,000 市役所 昼食・講師謝礼ほか 腎キャンペーン1回
講 演 会 街 頭 行 動 陳 情 行 動	(20,000) (40,000) (40,000)	(71,700) (28,310) (8,000)	
予 備 費 慶 弔 費 予 備 費	125,983 (60,000) (65,983)	170,130 (103,710) (66,420)	20件 根室腎友会支度金 30,000 市立伊藤院長祝い 12,200 永年役員表彰 12,720 年賀作成ほか 11,500
計		1,159,332	
繰 越 金	0	163,445	平成元年度に繰越
合 計	1,212,683	1,322,777	

特別積立金会計

目標額 500,000円

項 目	前年累計額	今年度積立金	63年度累計額
全腎協總會参加費	500,000	0	500,000

透析10年表彰特別会計決算書

収入の部

支出の部

62年度より繰越	預金利息	預金残高	63年度表彰	平成元年度へ繰越
451,730	7,992	459,722	13,920	445,802

昭和63年度

釧路地方腎友会 会計監査報告

- 1 当監査役は、平成元年 月 日、釧路地方腎友会規約第14条にもとずき、昭和63年度の収支決算について監査を実施しました。
- 2 この監査は、決算書類・預金通帳・帳簿・伝票などの一切について実施しました。
- 3 監査の結果、釧路地方腎友会の会計処理及び手続きは、すべて適正に行われていることを報告いたします。

平成元年 月 日

釧路地方腎友会

会計監査 山 田 幸 男
今 井 伸 子

釧路地方腎友会 活動方針(案)

1. 私達をとりまく状況

現在、腎臓病患者は入院及び外来患者だけで20万人を突破、潜在患者を含めると100万人以上といわれています。厚生省は腎移植情報ネットワークの中心となっている国立佐倉病院(千葉県佐倉市)を今年秋までに「国立病院腎医療センター」と改称、我国腎疾患対策の基幹施設とする方針を決めました。そして、「臨床研究部門」を新設し、腎移植のためのネットワークの強化や医療スタッフの増強をめざしています。

一方、昭和63年12月末日現在、腎臓提供登録者は全国で213、332人となり、目標の20万人を越えました。しかし、移植希望者は11、808人で、登録者の数は、まだまだ充分とはいえません。

昨年10月9日にイトーヨーカドー前で行われた腎提供登録キャンペーンでは今までにみられなかった市民の反応があり、19名の方が進んで登録してくれました。

私達の願いが少しずつ少しずつ市民の間に広がっているのだと思います。更に粘り強く活動を続けようとおもいます。

道腎協への負担金が値上がりしてから、釧路地方腎友会の一般会計は縮小せざるをえなくなりましたが、花火の斡旋や、年賀状印刷斡旋事業などでなんとかカバーしてきました。これからも続けていこうとおもいます。釧路市の通院交通費も63年度から委託事業となり、一応の解決をみました。

最近、人工透析期間が長いために起こる合併症になやまされている方が増えています。リンやカルシウムからくる骨の問題、薬などによる肝臓機能の問題、更には、心臓への負担などなど。いずれも深刻な問題です。釧路地方腎友会としてもどうしたらこれらの合併症を克服できるのか考えていかなければなりません。

よく、人工透析患者は仮免許の運転手で、お医者さんは教官にたとえられますが、私達自身が気をつけなければならないのが人工透析だと思っています。昨年、亡くなられる方が特に多かっただけに、このことをもう一度考えてみようと思います。

活動の目標

A) 今年度の重点目標

- (1) 腎臓病予防の啓発と、腎臓移植の推進を図るため、講演会の開催を推進します。
- (2) 医療・福祉制度の改悪に対しては、全腎協、道腎協の指導のもとに積極的に運動を進めます。
- (3) 腎臓移植の普及を目指し、10月に厚生省の腎提供促進月間に合わせた全国一斉街頭キャンペーンを実施します。
- (4) 全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立」を求める、又、日患協の「医療・福祉制度の充実」を求める国会請願署名、募金活動を進めます。
- (5) 透析のため他の市町村から通院する人の中で、交通費が助成されていない人がいれば助成されるよう請願行動を推進します。
- (6) 市町村の広報紙に「腎登録促進」の掲載を要請します。
- (7) 役員会及び幹事会を開催し、会の活性化に努めます。
- (8) 道東5地区学習交流会の開催に向けて努力し、積極的に参加します。
今年は釧路が当番ですので幹事をつとめます。
- (9) 登山・ハイキング・野外レク・新年会・各種旅行など、参加しやすい内容、方法を考えて実施します。 新年会、一泊旅行、登山は会全体で実施し、野遊会は各病院単位で実施する。(会員の少ない病院は多い病院と合同で行う)

B) 組織・広報・財政の強化

- ① 透析導入者の入会促進を図り、腎友会組織の拡充を図ります。
- ② 関係諸団体との連携を強め、道難病連への積極的参加や、地域難病連の組織化など、他の患者団体との連携強化に努めます。
- ③ 役員や活動家のほりおこしと育成に努めます。
- ④ 機関誌「たんちょう」の年6回発行を継続し、その内容充実に努めます。
- ⑤ 事務連絡は必要の都度発行し、機関誌の補助的役割を果たして行きます。
- ⑥ 会費の年内完納を目指して取組みます。
(会費は月600円で、全腎協100円、道腎協200円、釧腎会300円とし
生活保護者は申請により釧腎会分を100円とします)
- ⑦ 今年も年賀状の印刷斡旋をして、活動資金確保に努めます。
- ⑧ 署名時の募金・花火販売なども重要な財源ですので、積極的に協力してもらえ
るよう取組みます。
- ⑨ 各病院に設置した道腎協制作の募金箱の収入も大切に活用して行きます。

平成元年度

銚路地方腎友会 予 算 書 (案)

会計期間 自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日

(収入の部)

科 目	前年決算額	予 算 額	備 考
会 費	965,400	945,600	600円×12月×126名=907,200円 400円×12月× 8名= 38,400円
助 成 金	100,000	100,000	銚路市より
寄 付 金	172,780	0	
還 元 金	17,380	150,000	花 火 60,000円 募金ほか 90,000円
利 息		1,000	預金利息
繰 越 金	66,890	163,445	前年度より繰越
計	1,322,777	1,360,045	

病院別会費納入予定表

病 院 名	会 員 数	会 費 の 状 況
銚路市立病院	47名	7200円×47名=338,400円
	4名	4800円× 4名= 19,200円
林田 クリニック	37名	7200円×37名=266,400円
	2名	4800円× 2名= 9,600円
日赤病院	9名	7200円× 9名= 64,800円
	1名	4800円× 1名= 4,800円
協立病院	14名	7200円×14名=100,800円
	1名	4800円× 1名= 4,800円
労災病院	2名	7200円× 2名= 14,400円
厚岸町立病院	17名	7200円×17名=122,400円
計	126名	7200円×126名=907,200円
	8名	4800円× 8名= 38,400円

下段は生活保護の対象者です(月額400円)。

(支出の部)

科目	前年決算額	予算額	備考
負担金	495,000	482,400	3600円×134名=482,400円
事務費	38,082	40,000	どの科目にも属さない経費
会議費 総会 幹事会 三役会	236,460 (59,820) (165,600) (11,040)	270,000 (100,000) (120,000) (50,000)	資料作成費 25,000 参加交通費 20,000 食費 50,000 通信費ほか 5,000 参加交通費 80,000 資料作成費 20,000 通信費ほか 20,000 参加交通費 20,000 資料作成費 20,000 通信費ほか 10,000
広報費	87,650	100,000	機関誌制作費 40,000 会議印刷交通費 20,000 送料通信費ほか 40,000
活動費 行動費 入会促進 講演会 街頭行 陳情行 連集	132,010 (24,000) (71,700) (28,310) (8,000) (0)	406,000 (106,000) (20,000) (60,000) (30,000) (10,000) (200,000)	道腎協 総会 8,000 道腎協 出席交通費 20,000 道腎協 運営委 16,000 4回 道腎協 幹事会 16,000 2人2回 道腎協 交通費ほか 20,000 健康まつり 6,000 10人 新会員入会促進活動 資料交通費 腎キャンペーン1回 各種資料作成費ほか 全道集會(帯広)20名
予備費 予備費 予備費	170,130 (103,710) (66,420)	61,645 (50,000) (11,645)	
繰越金	163,445	0	
合計	1,322,777	1,360,045	

特別積立金会計

郵便局の定額貯金

項目	前年累計額	平成元年度残額
全腎協総会参加費	500,000	500,000

透析10年表彰特別会計予算書

郵便局の普通貯金

前年度より繰越金	平成元年度表彰経費	次年度へ繰越額
445,802	45,000	400,802

立赤田
市日林協厚
41211
名名名名
名名名名

透析開始が53年11月27日-54年11月26日迄の表彰予定者9名

釧路地方腎友会昭和63年度役員名簿

会 長	橋本 巖 (林田)	()
副 会長	竹内 昇 (協立)	()
全	掛札 聖 (林田)	()
全	長岡 久雄 (日赤)	()
全	金井 英雄 (市立)	()
全	木村 俊 (市立)	()
事務局長	忠村 敏 (林田)	()
会 計	対馬美喜子 (林田)	()
会計担当	東 哲司 (市立)	()
幹 事	池田 俊明 (市立)	()
全	佐藤 ミヨ (市立)	()
全	志谷 初江 (市立)	()
全	坂本 光子 (市立)	()
全	大友 元次 (林田)	()
全	砂原 良子 (林田)	()
全	石橋 清春 (林田)	()
全	貝 研二 (日赤)	()
全	栗井 育子 (協立)	()
全	波佐谷純孝 (厚岸)	()
会計監査	山田 幸男 (市立)	()
	今井 伸子 (林田)	()

釧路地方腎友会顧問

上田 弘

道腎協役員

副会長 上田 弘

幹事 橋本 巖

難病連釧路支部委員

支部長 上田 弘

幹事 長岡 久雄

機関誌「たんちょう」編集委員

橋本 巖 (林田)

金井 英雄 (市立)

東 哲司 (市立)

木村 俊 (市立)

佐藤エイコ (日赤)

平成2年6月30日

殿

釧路地方腎友会
会長 上田 弘

釧路地方腎友会事務局移転のお知らせ

暖かい日ざしが厳しい日ざしに変わろうとしている今日この頃、皆様におかれましては元気でお過しのことと存じます。

さて、この度 釧路地方腎友会では事務局を下記に移動いたしました。これからの事務連絡等については新しい住所でお願いいたします。最後に、皆様の益々のご活躍を期待してお知らせいたします。

記

事務局新住所 : 釧路市川北4-17
身体障害者福祉センター内
釧路地方腎友会
☎ 25-5905

※ なお、今のところ釧路地方腎友会の事務員は、平日の10時から12時までしかおりませんのでそれ以外のときはいままでどおり、(林田)の忠村まで連絡ください。